

株式会社 スーパーおくやま (奈良県大和高田市)



エコ・アイス



ショーケース

贈呈理由

郊外型大型食品スーパーに省エネを実現するエコ・アイスと蓄熱式ショーケースを導入



株式会社 スーパーおくやま 高田店

株式会社スーパーおくやまは、1972年第1号店開業以来、『地域に愛される生鮮食品スーパー』をモットーに、奈良県内中和地域に6店舗を構える地域密着型のスーパーマーケットである。生鮮食品をはじめとする食品においては「品質、鮮度、価格」を3つの重点項目として地域の皆さまに貢献することを心がけており、中央卸売市場や産地直送の野菜・果物類、とれたての魚介類、売場に並ぶ生鮮食品は、どれもが「スーパーおく

やま」ならではの鮮度が自慢。地域密着型のスーパーマーケットとしてお客さまの声に耳を傾け、求められる商品をいち早く並べられるように努力している。当該店舗の高田店は、同社6店舗目として、2013年7月にオープン。

エコ・アイスおよび蓄熱式ショーケースの採用は、高田店で3店舗となり、採用の決め手は、昼間のピーク電力を低減でき、最大電力の抑制とランニングコストの低減が図れること。食品スーパーにおける電力消費の割合は夏季のピーク時期では、冷蔵庫に7%、ショーケースに28%と、全体の35%が冷蔵・冷凍関係で占めている。

消費する電力カーブは、10時～19時に高い電力消費が続くため、ショーケースは昼間時間帯に合せた冷凍能力を準備する必要があるため、その反面、夜間は冷凍能力が余っている状態になる。その余った能力で蓄熱槽に氷をつくり、その氷で昼間のショーケースを冷却することで昼間

のピーク電力を低減している。

また、ランニングコストの優位性と省エネ性に加え、蓄熱槽に氷として貯えた熱量を昼間の高負荷時に取り出すことで、冷凍機の機器容量の小容量化ができたことにより、電源設備費の削減が図れ、大幅なコスト低減につながった。

今後も省エネルギーに配慮し環境にやさしい地域密着型の店舗づくりに取り組んでいく。

株式会社 スーパーおくやま 高田店

所在地: 奈良県大和高田市大字池尻171-1
 建築設計: 正木建設(株)
 建築施工: 正木建設(株)
 蓄熱設備設計: 日本スピンドル製造(株)
 蓄熱設備施工: (株)坂口電気商会
 延床面積: 4,747㎡
 竣工: 2013年(新設)

■蓄熱設備概要

エコ・アイスmini 6馬力相当×1台(ダイキン工業)
 蓄熱槽: 0.4㎡
 蓄熱式ショーケース 274.3kW×6台(日本スピンドル製造)
 蓄熱槽: 6.3㎡